

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

館化
民料
公有

批判の広がりに 12月議会に提案できず

既報のように、飯能市は、公民館を（仮称）地区行政センターとし、教育委員会の所轄から、市長部局に移すとともに、原則有料化する方針を決めて、10月11日から11月5日まで、13公民館で説明会を実施しました。

提案したい」としていません。しかし、この計画は市の総合振興計画にも、23年度からの五ヶ年の実施計画にも、全く触れられていないもので、議会無視も甚だしい、許し難い暴挙です。

どこの会場でも唐突な提案に批判的な声が圧倒的でした。

10日には、飯能地域労連が呼びかけた緊急学習会が持たれ、講師に持丸邦子さん（NHK学園、大学教員）を招いての学習と懇談会が開催されました。学習のなかで、社会教育法からみて行政センター化、有料化の問題点が浮き彫りになりました。

日本共産党も、市長へ直接声を届ける要請

日本共産党は、10月14日の24年度予算要求のなかで、中止を強く求め、さらに、11月2日には、納得できる十分な説明がないまま、12月議会に提出しないよう求める要望書を沢辺市長に提出しました。市民レベルでもツイッ

計画の中止を求めて

日本共産党は、10月14日の24年度予算要求のなかで、中止を強く求め、さらに、11月2日には、納得できる十分な説明がないまま、12月議会に提出しないよう求める要望書を沢辺市長に提出しました。市民レベルでもツイッ



日本共産党は、10月14日の24年度予算要求のなかで、中止を強く求め、さらに、11月2日には、納得できる十分な説明がないまま、12月議会に提出しないよう求める要望書を沢辺市長に提出しました。市民レベルでもツイッ



ハガキを呼びかけています。こうしたなかで市は、12月議会への上程を断念し、3月議会に提案する方向で調整に入りました。

運動をさらに広げよう
12月議会には提案できなかつたものの、「3月議会に提案したい」としていることから、行政センター化と

道路建設よりの車の乗り入れのない街づくりを
9日、飯能信用金庫本店、はんしんホールで駿河台大学・飯能信用金庫主催の「第5回地域活性化講演会」が行われ、飯能市中心市街地活性化アドバイザーの司波寛氏が講演しました。

司波寛氏は「飯能の中心市街地を考えるために」と題して、群馬県太田市とドイツのゲッティンゲンを比較して紹介しました。太田市は駅周辺は空

有料化の問題点を明らかにし、反対の世論と運動を大きく広げていきましよう。

かりしてきてその街を守ってきた。●郊外管理と自動車抑制がしっかりしていないと、中心市街地は崩れる。●日本でも自動車に頼らない市街地は賑わいが続く。●楽しく歩ける環境づくりと鉄道が交通手段としてしっかりしている街は賑わいが持続する。

《飯能ではどうするか》
●今の中心市街地を魅力のポイントづくり、
●長期的には、総合交通システム。速くて便利なバスシステム（市民も参加する検討会を設置して）。バスシステムについては黒字を出している武蔵野市や金沢の事例が話されました。

10月30日の「しんぶん赤旗」〈涼子のおいしい旅〉に「まんじゅう手に山登れば秋の色」と飯能市のことが載りました。紹介されているのは飯能名物の「みそ付けまんじゅう」と新名物の「すいとん」。

飯能に行ってみようという人が増えるかもしれませぬ▼肥前浜駅（佐賀県鹿島市）は切符も売っていない小さな駅。そこに市の観光協会の「観光戦路室」の大きな看板が下がっていました。訪ねたのは今年のIWC（国際ワインチャレンジ）の日本酒部門で最優秀の「チャンピオン・サケ」に選ばれた「鍋島 大吟醸」の蔵元があり、さらに酒蔵が数軒並んでいる酒蔵通りがあり、飲み歩きが楽しめる？という話を聞いたから▼日本酒と歴史的建造物の保存を地域活性化の足がかりにしようとしている肥前浜。東京の近い地の利があるのに大規模開発の夢が捨てきれない飯能市。足元を見つめ直すことも必要なのではないでしょうか。

海から食卓へ広がる放射能汚染

安全なお魚を
おいしく食べたい

11月26日 (土)
午前14時～15時半

飯能市中央公民館 2階集会室
お話：花岡和佳男さん
グリーンピースジャパン
※1歳以上のお子様の託児をします。
(要予約500円/1人)
電話 080-2380-0764 (長谷川)
メール hannou.mirai@gmail.com
こどもの未来を考える会in飯能/ダンゴーズ

第五期介護保険

保険料月額1000円の値上げは?

老人福祉計画策定委員会からの報告

4日、第5期(H24年～26年の3年間)の介護保険と老人福祉計画を策定するための第2回目的策定委員会が開かれました。ここでは、昨年11月に実施した「高齢者生活実態調査」で明らかになった課題を整理して、今後3年間の事業につなげようとするものです。会議では、テーマごとに質疑応答を行いました。

行する前から家族の相談を受けることにより、重症化を予防する。
(2) 在宅医療の推進及び地域包括ケアシステム
(3) 高齢者の住まいの確保の点では、医療費を抑制するためには「施設から在宅へ」。そのために退院時の医療機関と地域包括支援センターとの連携や在宅を保証するための小規模の居宅介護・訪問介護施設を新規に1カ所、小規模(29人以下)特別養護老人ホームを最終年度に計画する。
(4) 見守りや配食などの多様な生活支援サービスでは、今回の法改正の中で、「要支援者」と「特定高齢者」(要介護状態になる前の高齢者)に對して、「介護予防・日常生活支援総合事業」として新たに設けられた事業で、要介護度の低い高齢者へは介護保険から外してボランティア

(1) 認知症支援策の充実では、H19年度から開始した認知症サポーターの養成は、現在約1800人。飯能市でも認知症高齢者が増えてきており、サポーターの養成講座を継続しながら生活機能チェックリストを送付し早期発見につとめる。地域包括支援センターを中心とした地域のネットワークづくりや、認知症相談窓口を設置し、症状が進行

アなどで対応しようとするものです。
飯能の実態を調査した結果、すでに一般福祉サービスでこれらのサービスを提供していることから、第5期では、新サービスである「総合事業」の導入は見送ることとした。

(5) 高齢者虐待と権利擁護では、飯能市でも高齢者虐待が、ここ数年20件ほど発生している。複数の要因で虐待に至ることから、市、地域包括支援センター、保健所、警察等の連携。家族への支援。市民後見人の養成などです。

(6) 介護給付適正化は、保険料の値上げと値上げを抑える給付抑制です。値上げについては、月額1000円くらい見込まれているが、保険料の段階を現在9段階からさらに階層を増やし負担能力に応じた賦課を行う。給付抑制で

は、介護保険のサービスとして当初から特別給付として実施している「紙おむつ支給事業」を要介護度別に利用限度額を設けるなどの検討を続けるとしています。
委員である金子としえ市議は、「利用者にとつて大変喜ばれている事業で、保険給付費を抑えるというなら、思い切つて一般福祉で取り組めないか。そういう選択肢も必要だ」と提言しました。

6項目の検討課題

は、介護保険のサービスとして当初から特別給付として実施している「紙おむつ支給事業」を要介護度別に利用限度額を設けるなどの検討を続けるとしています。
委員である金子としえ市議は、「利用者にとつて大変喜ばれている事業で、保険給付費を抑えるというなら、思い切つて一般福祉で取り組めないか。そういう選択肢も必要だ」と提言しました。



元気が一番！歌に踊りに盛大に 第32回飯能市中央老連演芸大会開かれる

毎年恒例の中央労連演芸大会が10日、中央公民館ホールでにぎやかに行われました。市街地の宮本町福寿会、前田あさひ会、永田福寿会、柳原健寿会、中山年輪の会、本郷福寿会、原町寿楽会、一丁目健寿会の各自治会の老人会などで日頃鍛えた歌と踊りを披露しました。
カラオケ、合唱、舞踊、民踊など54演目が披露



診療所と高齢者住宅の前で

山間地域の活性化をめざし上野村を視察

両吾野支部

両吾野支部と新井市議は2日、群馬県上野村を視察しました。上野村は26年前に全日空のジャンボ機が墜落したことで知られていますが、山間僻地で

高齢者住宅、乗合タクシーや予約運行などで住民の「足の確保」を進めています。
その結果、村へのU・Iターン者は206名にのぼっているといわれます。説明してくれた村の教育長さんや企画担当者の顔が自信と誇りで輝いていました。
参加者は一様に、「こういう自治体なら住み続けられるね」「トップ(首長)の姿勢と哲学が必要だね」という声が聞かれました。支部では、「山間部の地域政策に生かしたい」と意気込んでいます。

文化欄
●身に沁むや三十四年といふ歳月
●白線に猫の足跡
桜
志づえ

むかし飯能にあつた水力発電
11月26日(土)
午後3時～4時半
富士見公民館
入場無料
お話し 柳戸信吾さん
(飯能市郷土館)
その昔、吾野や名栗でランプを灯す暮らしの中、水力発電を起した人たちがいた。昼は工場の動力に夜は家庭の明かりに、と。
日高・飯能民主文庫の会